

検 査 員	課 長	課 長 補 佐	リ ー ダ ー	審 査	設 計
-------------	--------	------------------	------------------	--------	--------

(0800100003-0)

工 種	開削工事及び小口径推進工事等	工 事 番 号	設 計 年 月 日	令 和 年 月 日
工 事 箇 所	蕪崎市水神一丁目 地内			
路 線 ・ 河 川 名				
<p>令和 8 年度 設 計 書</p> <p>蕪崎本町通り線電線共同溝工事に伴う水道管移設工事</p> <p>蕪崎市上下水道課</p>				

水道工事標準仕様書による

(日本水道協会)

土木工事共通標準仕様書による

(山梨県県土整備部)

特記仕様書

(一般事項)

第1条 適用範囲

本特記事項は、葦崎市水道事業の工事について定める。これに定めのないものは、水道工事標準仕様書、ならびに土木工事共通標準仕様書によるものとする。さらに別途特記仕様書が添付されているときは、その仕様書による。

第2条 疑義等

この特記仕様書に記載のない事項及び本工事施工にあたり疑義が生じた場合には、請負者は、監督員と協議しその指示に従わなければならない。

第3条

工事の施工に当たって請負者は、必要に応じ所轄警察署と協議をし、一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工するものとする。

又、道路使用許可が必要な場合は、事前に監督員に道路使用協議書の作成を依頼すること。

工事の施工時期及び区間については、事前に市役所及び施工地区、関係者等と十分に協議し、支障等の無いように計画しなければならない。

なお、別添図面により難い場合は、別途協議する。

第4条 安全・訓練等の実施

本工事の施工に際し、現場に即した安全・訓練等について、工事着手後原則として作業員全員の参加により月当たり半日以上の時間を割当て、下記の項目から実施内容を選択し安全・訓練等を実施するものとする。

1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
2. 本工事内容等の周知徹底
3. 本工事安全施工技術指針等の周知徹底
4. 本工事における災害対策訓練
5. 本工事で予想される事故対策
6. その他、安全・教訓等として必要な事

第5条 安全・訓練等に関する施工計画書の作成

施工に先立ち作成する施工計画書に、本工事の内容に応じた安全・訓練等の具体的な計画を作成するものとする。

第6条 安全・訓練等の実施状況報告

特記仕様書

安全・訓練等の実施状況を写真又は、工事報告（工事月報）に記録し、工事完成時に書類と伴に報告するものとする。

なお、工事期間中であっても監督員が実施状況の確認を必要とする場合は速やかに中間報告するものとする。

第7条 本工事においては、現地の状況を十分理解し安全性、施工性、また、労働安全衛生規則を遵守し、労働基準監督署に届けの必要がある場合はその写しを施工計画書に添付すること。

第8条 本工事からアスファルト・コンクリート塊等が発生した場合は、最終処分場施設に搬入するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、建設副産物処理状況証明書・マニフェストE票の写しを監督員に提出するものとする。

また、請負工事より発生する建設副産物について、指定及び任意処分に係わらず処理状況表に次の事項を記載すること。

- ①中間処理の場合は、処理業社名、運搬経路、運搬距離、処理量（地山量）等を処理表に記載し、積み卸し状況写真も添付すること。
- ②最終処分の場合は、処分地の宛先名、運搬経路、運搬距離、処理量（地山量）等を処理表に記入し、積み卸し状況写真及び見取り平面図（横断図も含む）を添付すること。

第9条 工事着手前に設計図面に記載されている地下埋設物以外の支障物件について調査報告を監督員に行い、工事に支障のある場合には、施工方法、工程等について別途協議すること。

なお、施工に当たっては、損傷を与えないよう占用物件の管理者に立合いを求め入念に施工すること。

第10条 工事着手前に、民有地との境界確認が必要な箇所については地権者立合のもと丁張り等により境界を明確にしておきトラブルの無いように注意すること。また建造物等の近接工事を行う場合は、着工前に必ず関係者と立会い確認を実施し、現況写真を撮るとともに測定や調査記録がある場合は保管しておくこと。

第11条 本工事施工に際し、工事区域内に進入しないようバリケードや歩行者通路を確保し、終日交通止め個所についてはその他保安灯を設置すること。その他、事故が発生しないよう十分な安全対策をおこない、対応すること。

特記仕様書

第12条 請負者は、受注後速やかに現地を確認し、その確認調査の結果により本工事に即した施工計画書を提出し、監督員の承諾を得ること。

第13条 埋戻工

管上15cmから、路床面までは、再生切込砕石または良質発生土にて埋戻すものとする。これにより難しい場合は、監督員と協議すること。

又、埋戻しは片埋めにならないように注意しながら、厚さ30cm以下に敷きならし、原地盤と同程度以上の密度となるように締固めを行うこと。

良質発生土で埋戻しを行う場合は、現場にて土の密度試験を行い、監督員に報告を行うこと。路床の完成時に500㎡あたり1箇所の割合（但し、1,500㎡未満は3箇所）で試験を行い、密度が90%以上となることを確認すること。

第14条 発生土の処理

建設発生土の処理については、指定処分Aとする。

建設工事の施工における建設発生土は、以下の場所に搬出すること。

- ① 工事名：山梨西部広域環境組合新ごみ処理施設整備に伴う造成工事
- ② 搬入場所：中央市浅利 230-3
- ③ 運搬距離：L=20.3 km

第15条 段階確認等

段階確認にあたり請負者は共通仕様書によるほか、下記によるものとする。

1) 段階確認の計画書作成

工事着手前において、段階確認事項を確認、整理し段階確認予定時期を記した段階確認工程表を作成する。なお施工計画書作成対象工事においては、施工計画書に含めて提出しなければならない。

2) 社内検査の実施（現場監督員以外の者）

段階確認を受ける前には必ず社内検査を実施し設計図書どおりの施工がなされているか事前確認すること。また、検査結果を整理し、監督員から指示があった場合は提示しなければならない。

3) 段階確認時の注意事項

段階確認においては検査（確認）部分の出来型が確認できる資料を事前に作成し、監督員に提出すること。また、配筋状況の確認時には配筋チェックシートを作成し、段階確認時に監督員に提出すること。

4) その他

特記仕様書

段階確認の計画書及び配筋チェックシートについて監督員の承諾を得た場合は、請負者の様式により管理できる。

第16条 本工事に関する提出物及び、協議、承諾は、全て市指定の工事打合簿に添付し、その都度監督員に提出し、確認すること。

第17条 契約不適合
舗装復旧工に対しては、工事請負契約書・契約約款第42条の規定により本復旧までの間に沈下等の障害が生じた場合は、速やかに補修すること。

第18条 指示事項について
工事現場での諸条件（工法、安全面、工事環境・・・）等の指示事項については、現場にて監督員より現場代理人が文書でもらい受け、その内容について、現場代理人は、直ちに対処し、現場作業員に徹底させること。

第19条 資材の再生資源化について
請負代金額が100万円を超える場合は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」の対象工事となる。

第20条 再資源利用計画（実施）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出
本工事は、建設副産物実態調査の対象工事であり、請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（EXCEL様式）の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1部（紙）を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。（以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可）

工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD等）により監督員に提出するものとする。

なお、入力した工事データは自社で1年間保管するものとする。

* 入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること
URL https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

特記仕様書

この特記事項は、『土木工事共通標準仕様書 第1編共通編 第1章総則 1-1-1-18 建設副産物 第5項及び第6項』、『建設副産物処理基準 [5] 再生資源利用促進（計画・実施）書の提出』、および『再生資源利用基準 [7] 再生資源利用（計画・実施）書の提出』に代わるものとする。

第21条 工事实績情報サービス（コリンズ）への登録について

請負金額が、500万円以上の工事について、工事实績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受け、登録後（財）日本建設情報センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出するものとする。

第22条 水道配水用ポリエチレン管の接合について

この工事の配水本管は、融着継手にて施工するため、適切な接合工具及び発電機（定格出力2.0KVA以上）で施工するものとする。

また、融着部の接合状況写真は、直線部については、30mに1箇所、継手部については全ての箇所で撮影すること。なお、チェックシートについては全ての箇所において管理すること。

第23条 溶融スラグを利用した建設資材の優先使用について

請負者は、「溶融スラグ有効利用ガイドライン」（平成29年10月）に基づく溶融スラグを利用した建設資材（積みブロック、密粒度アスファルト混合物、下層路盤材）については、優先使用に努めるものとする。

第24条 舗装版切断時に発生する濁水処理

舗装版切断時に発生する濁水は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、原則として収集し処分業の許可を取得している中間処理施設等へ運搬し処分するものとする。また、産業廃棄物管理表（マニフェスト）により適正に処理し、監督員に提示するものとする。

現場条件により濁水の収集が困難な場合は、監督員と協議するものとする。

第25条 排出ガス対策型建設機械について

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（最新版）」及び「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（最新版）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、又は平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」またこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械（黒煙浄化装置付）を使用するものとする。

特記仕様書

とする。

但し、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、設計変更するものとする。

また、排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、施工現場において使用する機械の写真撮影を行い提出するものとする。なお、指定機械であることを識別するラベルが添付されているので、確認できるように撮影すること。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式）・空気圧縮機（可搬式）・油圧ユニット（以下に示す基礎工事用機械のうち、ベイスマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの；油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーササーキュレーションドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。

第26条 交通誘導員について

本工事の交通誘導員は3人以上を2日間配置し施工すること。また、現場の状況に応じて監督員と協議を行い、適切に誘導員を配置し工事を行うこと。疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議すること。

第27条 表示ピンについて

舗装打設前にオフセットを確認し、表示ピンを現況位置へ復旧すること。表示ピンの種類については、それぞれの箇所ですら異なるのでしっかりと確認すること。

第28条 電子納品について

本工事の竣工書類の一部（工事写真）は、監督員と協議のうえ紙媒体書類、または電子データにより提出するものとする。また、納品する電子データについては、「山梨県県土整備部 電子納品要領」及び「山梨県県土整備部 電子納品運用マニュアル」

特記仕様書

に従い作成するものとする。

第29条 週休2日適用工事について

- 1、本工事は、週休2日適用工事として、4週8休以上の現場閉所を見込んでいる。
取り扱いについては、令和8年5月1日から適用する「週休2日適用工事実施要領」による。
- 2、週休2日は、月単位の週休2日により取り組むこととし、施工計画書により提出すること。また、施工計画書の提出が非対象の工事については、「週休2日制現場閉所（計画・実績）書」にて報告を行うものとする。

第30条 その他

その他、疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

< 概要 >

令和8年度施工延長 L=13.7m

配水用ポリエチレン管布設工 φ150 L=14.8m

ストップバルブ設置工 φ150 2基

不断水分岐バルブ設置工 φ150×150 2基

施行経費総括表

費 目	金 額	備 考
直接工事費		
間接工事費		
工事原価		
一般管理費		
工事価格		
消費税等相当額		
本工事費		

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	配水管布設工事 (φ150)				式	1			
	弁類設置工事				式	1			
	土工事				式	1			
	舗装工事				式	1			
	安全費			単独管15m/日・仮設管40m/日 (2人)	式	1			
	直接工事費								
	共通仮設費				式	1			
			管材費		式	1			
		率計算分			式	1			
	純工事費								

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	現場管理費				式	1			
		率計算分			式	1			
	工事原価								
	一般管理費等				式	1			
		率計算分			式	1			
	工事価格								
		消費税等相当額			式	1			
	本工事費								

第1号の1 A0010 A01

配水管布設工事 (φ150) 1式当たり明細表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
材料費		式	1				
水道配水用ポリエチレン管	E F受口片受直管 φ150	m	15				
水道配水用ポリエチレン管 継手	E F 45° ベンド (片受) φ150	個	4				
水道配水用ポリエチレン管 継手	EFフランジ短管 φ150	個	2				
フランジ	フランジ接合材 水道用(全面7MP・1枚, SUS304B・N・6本) φ150	組	2				D1102006
丸形キャップ II φ150	鋳鉄管用 内外面エポキシ樹脂粉体塗装	個	2				
埋設アルミシート	2倍折 巾=150	m	14.8				D1604000
水道用 管表示ピソ	L=70mm	個	4				D1401000
工事費		式	1				
ポリエチレン管据付工	呼び径150mm	m	14.8				第1号単価表, SS20610//J07, 2-6-1, 2

第1号の2 A0010 A01

配水管布設工事 (φ150) 1式当たり明細表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ポリエチレン管継手工	呼び径150mm 融着継手を行う	口	9				第2号単価表, SS20612//J09, 2-6-1, 2
鋳鉄管切断工(エンジンカッター使用)	呼び径150mm	口	2				第3号単価表, SS20812//J02, 2-8-2
メカカル継手工	呼び径150mm	口	2				第4号単価表, SS20330//J09, 2-3-3
フランジ継手工	JWWA 7.5K 呼び径150mm	口	2				第5号単価表, SS20340//J04, 2-3-5
管明示シート工		m	14.8				第6号単価表, SS20396//J01, 2-3-16
合 計		式	1				

第2号 A0013 A02 弁類設置工事 1式当たり明細表							
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
材料費		式	1				
ダクタイル管	不断水分岐ハルブ (ソフトシルタイプ) ダクタイル管用 φ150×150 TN-65VS 粉体塗装	基	2				D0240013
工事費		式	1				
不断水連絡工	本管呼び径×取出呼び径 φ150×φ150	箇所	2				第7号単価表, SS20392//J06, 2-3-14
ストップ設置工 ダクタイル 管	EM不断水工法エスケート φ150 材工共	箇所	2				D0502105
合 計		式	1				

土工事 1式当たり明細表

第3号 A0011 A02

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
材料費		式	1				
工事費		式	1				
バックホ掘削積込	油圧式クローラ型 排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)	m3	13				第8号単価表, SS80000//J02, 参考1-1-1
管路埋戻工(機械埋戻・バックホ)	タンパ 締固め バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.20m3)	m3	5				第9号単価表, SS80012//J04, 参考1-1-2
管路埋戻工(機械埋戻・バックホ)	タンパ 締固め バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.20m3)	m3	3				第10号単価表, SS80012//J05, 参考1-1-2
土砂等運搬	小規模 バックホ山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間無し 運搬距離1.0km以下	m3	3				第11号単価表, SPG2102020//J01
積込 (ルーズ)	土砂 土量50,000m3未満	m3	3				第12号単価表, SPG2102070//J01
発生土処分工(機械積込み)	運搬距離20.3km DID区間無し 10t積, 山積0.8m3(平積0.6m3)	m3	10				第13号単価表, C0112//J07, A-1-13
合 計		式	1				

舗装工事 1式当たり明細表

第4号の1 A0014 A03

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
材料費		式	1				
工事費		式	1				
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	30				第14号単価表, SPG4303010//J05
建設汚泥処分費	; (株)三共道路 環境リサイクルセンター(昭和町) 舗装濁水 (アスファルト舗装切断)	m ³	0.03				
トラック運転	普通2t	時間	0.9				第15号単価表, S006040//J01
舗装版破碎積込 (小規模土工)		m ²	9				第16号単価表, SPG2103040//J01
殻運搬	舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離9.0km以下	m ³	1				第17号単価表, SPG2225010//J03
処分費 As塊	; (有)秋山建設運輸 破碎施設(韮崎市)	m ³	1				
表層 (車道・路肩部)	1.4m未満(1層平均仕上り厚50mm以下) 50mm 再生密粒度アスコン(13)	m ²	9				第18号単価表, SPG4102030//J08
上層路盤 (車道・路肩部)	粒度調整碎石 M-40 全仕上り厚150mm 1層施工	m ²	9				第19号単価表, SPG4101040//J04

第5号 A00000000001 A02

安全費 1式当たり明細表

単独管15m/日・仮設管40m/日(2人)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
交通誘導警備員 B		人					
合 計		式	1				

ポリエチレン管据付工 10m当たり単価表							
第1号	SS20610 J07						呼び径150mm 2-6-1, 2
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
合 計		m	10				
単位当り		m	1				

第2号 SS20612 J09

ポリエチレン管継手工 1口当たり単価表

呼び径150mm 融着継手を行う
2-6-1, 2

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
諸雑費		%	14				
合 計		口	1				
単位当り		口	1				

第3号 SS20812 J02

鋳鉄管切断工(エンジンカッター使用) 1口当たり単価表

呼び径150mm
2-8-2

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
鋳鉄管切断機・溝切り加工機	500mm以下	日	0.04				LZS002, 600
諸雑費		%	30				
合 計		口	1				

第4号 SS20330 J09

メカニカル継手工 1口当たり単価表

呼び径150mm
2-3-3

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
諸雑費		%	1				
合 計		口	1				

第5号 SS20340 J04

フレンジ継手工 1口当たり単価表

JWWA 7.5K 呼び径150mm
2-3-5

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
諸雑費		%	1				
合 計		口	1				

第6号 SS20396 J01

管明示ト工 100m当たり単価表

2-3-16

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
普通作業員		人					
合 計		m	100				
単位当り		m	1				

第7号 SS20392 J06

不断水連絡工 1箇所当たり単価表

本管呼び径×取出呼び径 φ150×φ150
2-3-14

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
不断水穿孔機	200mm以下	日	0.25				LZS066, 3417
諸雑費		%	5				
合 計		箇所	1				

第8号 SS80000 J02

バックホウ掘削積込 100m3当たり単価表

油圧式クローラ型
排対2次 山積0.28m3(平積0.2m3)
参考1-1-1

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人					
普通作業員		人					
バックホウ運転	排対2次 山積0.28m3(平積0.20m3)	時間	11.1				第21号単価表, SS80003//J02, 参考1-1-1
諸雑費		式	1				X15000
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				

第9号 SS80012 J04		管路埋戻工(機械埋戻・バックホ) 100m3当たり単価表					タンパ 締固め バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.20m3) 参考1-1-2	
名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要	
土木一般世話役		人						
普通作業員		人						
バックホ運転	排対2次 山積0.28m3(平積0.20m3)	時間	7.6				第21号単価表, SS80003//J02, 参考1-1-1	
タンパ 運転(賃料)	タンパ 60~80kg	日	3				第22号単価表, SS80014//J01, 参考1-1-2	
埋め戻し用砂		m3	120					
諸雑費		式	1				X15000	
合 計		m3	100					
単位当り		m3	1					

第10号 SS80012 J05

管路埋戻工(機械埋戻・バックホ) 100m3当たり単価表

タンパ 締固め
バックホ 排対2次 山積0.28m3(平積0.20m3)
参考1-1-2

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
土木一般世話役		人					
普通作業員		人					
バックホ運転	排対2次 山積0.28m3(平積0.20m3)	時間	7.6				第21号単価表, SS80003//J02, 参考1-1-1
タンパ 運転(賃料)	タンパ 60~80kg	日	3				第22号単価表, SS80014//J01, 参考1-1-2
諸雑費		式	1				X15000
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				

第11号 SPG2102020 J01

土砂等運搬 1m3 当たり単価表

小規模 トラック積積0.28m3(平積0.2m3)
DID区間無し 運搬距離1.0km以下

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック損料	オンロード・ディーゼル 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	供用日					
運転手(一般)		人					
軽油	パトロール給油	L					
施工パッケージ単価		m3	1.00				
合 計		m3	1				

第12号 SPG2102070 J01

積込 (ルーズ) 1m3 当たり単価表

土砂
土量50,000m3未満

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ (クローラ型) [標準型]	排ガス2014	供用日					
運転手 (特殊)		人					
軽油	パトロール給油	L					
施工パッケージ単価		m3	1.00				
合 計		m3	1				

第13号 C0112 J07

発生土処分工(機械積込み) 1m3当たり単価表

運搬距離20.3km DID区間無し
10t積, 山積0.8m3(平積0.6m3)
A-1-13

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
発生土運搬工(10t積級、機械積込み)	運搬距離20.3km DID区間無し バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)	m3	1				第23号単価表, C0113//J05, A-1-13
合 計		m3	1				

第14号 SPG4303010 J05

舗装版切断 1m当たり単価表

アスファルト舗装版
アスファルト舗装版厚15cm以下

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式]	超低騒音	供用日					
特殊作業員		人					
土木一般世話役		人					
普通作業員		人					
ブレード (コンクリートカッタ)	径18インチ (45cm)	枚					
ガソリン	レギュラー (スタンド)	L					
施工パッケージ単価		m	1.00				
合 計		m	1				

第15号 S006040 J01

トラック運転 1時間当たり単価表

普通2t

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手 (一般)		人					
軽油	パトロール給油	L	3.9				
トラック [普通型]		時間					
諸雑費		式	1				X15000
合 計		時間	1				

第16号 SPG2103040 J01

舗装版破碎積込（小規模土工） 1m²当たり単価表

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
小型バックホウ（クローラ型） [標準型]	排ガス2次	供用日					
運転手（特殊）		人					
軽油	パトロール給油	L					
施工パッケージ単価		m ²	1.00				
合 計		m ²	1				

第17号 SPG2225010 J03

殻運搬 1m3 当たり単価表

舗装版破碎
D1D区間無し 運搬距離9.0km以下

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック損料	オンロード・ディーゼルの 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	供用日					
運転手(一般)		人					
軽油	パトロール給油	L					
施工パッケージ単価		m3	1.00				
合 計		m3	1				

第18号の1 SPG4102030 J08

表層（車道・路肩部） 1m2 当たり単価表

1.4m未満(1層平均仕上り厚50mm以下)
50mm 再生密粒度アスコン(13)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式]		供用日					
振動コンパクタ [前進型]		供用日					
特殊作業員		人					
普通作業員		人					
土木一般世話役		人					
再生アスファルト混合物	再生密粒度(13)(20)	t					
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	L					
ガソリン	レギュラー(スタンド)	L					
軽油	パトロール給油	L					
施工パッケージ単価		m ²	1.00				

第19号の1 SPG4101040 J04

上層路盤（車道・路肩部） 1m²当たり単価表粒度調整砕石 M-40 全仕上り厚150mm
1層施工

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
モータグレーダ [土工用]	排ガス2014	供用日					
ロードローラ [マカダム] 賃料		日					
タイヤローラ賃料		日					
運転手 (特殊)		人					
普通作業員		人					
特殊作業員		人					
土木一般世話役		人					
粒度調整砕石 (40-0)	M-40	m ³					
軽油	パトロール給油	L					
施工パッケージ単価		m ²	1.00				

第20号の1 SPG4101020 J05

下層路盤（車道・路肩部） 1m2 当たり単価表

2層施工 全仕上り厚350mm
再生クラッシャーラン RC-40

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
モータグレーダ [土工用]	排ガス2014	供用日					
ロードローラ [マカダム] 賃料		日					
タイヤローラ賃料		日					
運転手 (特殊)		人					
普通作業員		人					
特殊作業員		人					
土木一般世話役		人					
再生クラッシャーラン (40-0)	RC-40	m3					
軽油	パトロール給油	L					
施工パッケージ単価		m2	1.00				

第21号 SS80003 J02

バックホウ運転 1時間当たり単価表

排対2次 山積0.28m³(平積0.20m³)
参考1-1-1

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手 (特殊)		人					
軽油	パトロール給油	L	5.9				
バックホウ (クローラ型) [標準型]	排ガス2次	時間	1				
諸雑費		式	1				X15000
合 計		時間	1				

第22号 SS80014 J01

タンパ° 運転(賃料) 1日当たり単価表

タンパ° 60~80kg
参考1-1-2

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
特殊作業員		人					
ガソリン	レギュラー (スタンド)	L	5				
タンパ (ランマ) 賃料		供用日	1.38				
諸雑費		式	1				X15000
合 計		日	1				

第23号 C0113 J05

発生土運搬工(10t積級、機械積込み) 100m3当たり単価表

運搬距離20.3km DID区間無し
バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3)
A-1-13

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
ダンプトラック運転	割増なし 10t積級 良好	日	4.7				第24号単価表, S022000//J03
合 計		m3	100				
単位当り		m3	1				

第24号 S022000 J03

ダンプトラック運転 1日当たり単価表

割増なし
10t積級 良好

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
運転手 (一般)		人					
軽油	パトロール給油	L	58				
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		供用日					
タイヤ損耗費	ダンプトラック	供用日	1.29				
諸雑費		式	1				X15000
合 計		日	1				

富士見ヶ丘二丁目

位置図



施工箇所

